

施策評価シート

施策等名称	一人ひとりが主役となり、「共に生きる」ことができるまち	体系番号	0101010101
		主管課	地域福祉課

1 施策基本情報

現状と課題	「共に生きる」まちづくりに向け、実践過程における様々な取組を通じて、市民参画のまちづくりが定着しつつあり、地区(4層)や区・自治会(5層)を軸にしたまちづくりを進めるために「地域福祉行動計画」を策定し進めてきました。実践にあたっては、地域の実情や課題について区の役員、民生児童委員、保健指導員、福祉推進委員、ボランティア等が連携することで、地域福祉を推進する市民力・地域力が高まっています。市民参加が地域によりばらつきがあることや、障害のある方々への関心や障害への理解などについては、なお一層の取組が必要です。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	一人ひとりの生命(いのち)が尊ばれ、社会の中で一人ひとりが主役となり、同じ茅野市民として、平等な立場でお互いがそれぞれの存在を認め合いながら「共に生きる」ことができるまちをめざします。 そのために、身の回りの課題についてお互いが共有し、お互いが困りごとを気軽に相談できる体制づくりを進めます。 ※主要事務事業の(★)は、地域福祉計画の「具体的な施策の展開」(第Ⅲ編)における「課題に向けた施策」に掲げられた項目であることを示す。

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2023年度目標値	
				2027年度目標値	2027年度目標値
①	区・自治会での支え合いによる活動(施策共通指標)	区・自治会における支え合いの活動数(件)	6	30.00	50
	②	課題に向けた施策の実施状況(施策共通指標)	具体的な施策の展開(第Ⅲ編)における施策の実施率(%)	0	50.00
	③	地域福祉の推進へのアンケート調査実施(施策共通指標)	計画改定にあたって、住民満足度を把握するためのアンケート調査の実施(回)	0	100
				1.00	1

施策の柱1	名称	地域の支え合い(仕組みづくり)		主管課	地域福祉課		
	詳細	福祉21ピーナスプランの実現に向けて、総合的な施策の推進を図ります。また、お互いが支え合いながら住み慣れた地域で生活を送るため、地域福祉行動計画の更新等を通して、地域の課題の収集と課題への対応を話し合うとともに、地域での困りごと相談ができる体制づくりを進めます。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	協議した課題等の数	福祉21茅野の会議で協議した課題の数(件)	-	10	1 福祉21ピーナスプラン推進事業	実施
					-	2 地域での困りごとが相談できる体制づくり(★)	検討中
	2	地域福祉行動計画更新数	平成31年度に終了する第二次地域福祉行動計画を更新した計画の数(件)	- (第2次計画数16)	16	3 地域課題の収集と課題への対応(★)	検討中
					-	4	
	3	福祉21ピーナスプランの進行管理の実施	進行管理に係る会議の開催回数	-	1	5	
					1	6	
		基本政策間連携					

施策の体系	名称			主管課		
	詳細					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1				1	
					2	
	2				3	
					4	
	3				5	
					6	
		基本政策間連携				

施策の柱3	名称			主管課		
	詳細					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1				1	
					2	
	2				3	
					4	
	3				5	
					6	
		基本政策間連携				

施策等名称	一人ひとりが主役となり、「共に生きる」ことができるまち	体系番号	0101010101
		主管課	地域福祉課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
施策	区・自治会での支え合いによる活動(施策共通指標)	6.00	6.00	5.00	5.00		
1		30.00	20.00	16.67	16.67	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	地域での支え合いを進めるため、発達障害等の研修やほろ酔い座談会を開催しながら地域での活動を支援している。					
	2019年度	地域での支え合いを進めるため、発達障害等の研修やほろ酔い座談会を開催しながら地域での活動を支援している。					
	2020年度	地域での支え合いを進めるため、地域福祉に関わる研修会を各地区で開催し地域での活動を支援している。					
	2021年度						
	2022年度						
施策	課題に向けた施策の実施状況(施策共通指標)	0.00	0.00	0.00	0.00		
2		50.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	2017年度に策定後、課題解決のための協議等を行いながら取組を行っているが、まだ施策の実施にまでは至っていない。					
	2019年度	課題解決のための協議を福祉21茅野のワーキンググループなどで行っているが、施策の実施にまでは至っていない。					
	2020年度	課題解決のための協議を福祉21茅野のワーキンググループなどで行っているが、施策の実施にまでは至っていない。					
	2021年度						
	2022年度						
施策	地域福祉の推進へのアンケート調査実施(施策共通指標)	0.00	0.00	0.00	0.00		
3		1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	計画の期間を、3、3、4で区切り、見直しを行うときにアンケート調査を行うため、今年度は実施していない。					
	2019年度	計画の期間を、3、3、4で区切り、見直しを行うときにアンケート調査を行うため、今年度は実施していない。					
	2020年度	計画の期間を、3、3、4で区切り、見直しを行うときにアンケート調査を行うため、今年度は実施していない。					
	2021年度						
	2022年度						
柱1	協議した課題等の数	-	19	19	19		
1		10	190.00	190.00	190.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	課題に向けた施策の実施状況について、福祉21茅野と協議をしながら進めている。					
	2019年度	課題に向けた施策の実施状況について、福祉21茅野と協議をしながら進めている。					
	2020年度	課題に向けた施策の実施状況について、福祉21茅野と協議をしながら進めている。					
	2021年度						
	2022年度						
柱1	地域福祉行動計画更新数	(第2次計画数16)	0.00	16.00	16.00		
2		16.00	0.00	100.00	100.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	計画の更新は2019年度の予定であるため、成果指標の実績はない。今年度は、計画の更新に向け、庁内での策定チームの立ちあげを行った。					
	2019年度	第3次地域福祉行動計画を各地区(ちの地区は各行政区)で策定した。					
	2020年度	2019年度に第3次地域福祉行動計画が各地区(ちの地区は各行政区)で策定された。					
	2021年度						
	2022年度						
柱1	福祉21ピーナズプランの進行管理の実施	-	0.00	0.00	0.00		
3		1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	福祉21茅野の専門部会の進捗状況を6月、12月に確認した。また進行管理の実施方法等について検討を行った。					
	2019年度	福祉21茅野の専門部会を再編し、具体的な課題に対するワーキンググループを立ち上げた。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染症の影響により会議開催が難しい状況であったがほとんどのワーキンググループで活動が実施された。					
	2021年度						
	2022年度						

施策等名称	一人ひとりが主役となり、「共に生きる」ことができるまち	体系番号	0101010101
		主管課	地域福祉課

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年(前年度比)		2019年(前年度比)		2020年(前年度比)		2021年(前年度比)		2022年(前年度比)		
投資額	事業費(円)	5,787,277		6,966,841	1.20	6,366,252	0.91	4,172,000	0.66			
	うち一財(円)	5,412,277		6,816,841	1.26	6,366,252	0.93	4,097,000	0.64			
	増減理由 (一般財源前年度比±10%以上の場合に記載)			第3次地域福祉行動計画の作成経費が増ったため。								
進捗評価		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調						
総合評価	主な取組内容や成果	<ul style="list-style-type: none"> ・進行管理の方法について、福祉21茅野幹事会の中で、議論をした。 ・各専門部会において、課題解決に向けた検討が行われている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・福祉21茅野の専門部会を再編し、具体的な課題に対するワーキンググループを立ち上げた。 ・第3次地域福祉行動計画を各地区(この地区は行政区)で策定することができた。 		<ul style="list-style-type: none"> ・障害者保健福祉計画の数値見込の見直しを行い、高齢者保健福祉計画については3年間の期間延長を行った。 ・福祉21茅野の各ワーキンググループで活動が開始された。 						
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な施策の展開について、福祉21茅野の専門部会のあり方も含めて、代表幹事を中心に検討を進める。 		<ul style="list-style-type: none"> ・福祉21ピーナズプランと障害者保健福祉計画の見直し、高齢者保健福祉計画の策定について検討。 ・各ワーキンググループが検討した課題について、市に対して施策提案ができるよう進める。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各ワーキンググループが検討した課題について、市に対して施策提案ができるよう進める。 ・第3次地域福祉行動計画の周知方法や進行管理について検討が必要。 						
改革・改善	改革・改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉21茅野における計画の進行管理方法を確立するとともに、着実に計画推進に取り組む体制を整備する。 ・具体的な施策の展開を図るため、福祉21茅野の部会のあり方など検討体制も含め、検討をすすめる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・第3次福祉21ピーナズプランの3年目の見直し、障害者保健福祉計画の見直し、高齢者保健福祉計画の見直しについて検討を進める。 ・各ワーキンググループが検討した課題について、市に対して施策提案ができるよう進める。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各ワーキンググループが検討した課題について、市に対して施策提案ができるよう進めるとともに、新たな課題を検討するワーキンググループを立ち上げる。 ・第3次地域福祉行動計画を各地区のまちづくり計画としての位置づけを浸透させる。 						
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	1		1		1					
		重点事務事業	1		1		1					
理由	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域での支え合いづくりに向けて、地域福祉行動計画の策定が重要である。 ・福祉21ピーナズプランを推進することにより、茅野市の保健福祉全体の施策推進につながる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域での支え合いづくりに向けて、地域福祉行動計画の進行管理が重要である。 ・福祉21ピーナズプランを推進することにより、茅野市の保健福祉全体の施策推進につながる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域での支え合いづくりに向けて、地域福祉行動計画の進行管理が重要である。 ・福祉22ピーナズプランを推進することにより、茅野市の保健福祉全体の施策推進につながる。 							

作成担当者	竹村 紀彦	守屋 正弘	守屋 正弘		
最終評価責任者	両角 直樹	両角 直樹	依田 利文		
最終評価年月日	2019年5月29日	2020年7月10日	2021年5月28日		